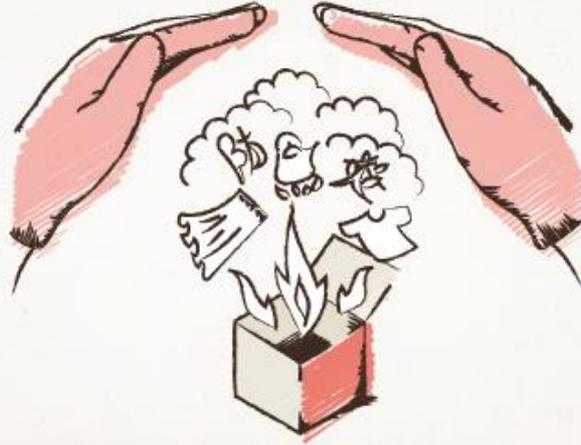


身を守る ホームファッション



信州上田 五大学リレー講座 2019「未来学科」第4回講座

会場 信州大学繊維学部 事務棟 34 番教室

2019/12/7 [SAT] 10:00~12:00

防災ワークショップ 信州上田五大学リレー講座 2019 「未来学科」第4講座

『身を守るホームファッション』

【企画概要】

現代生活の環境変化に合わせる形で、ホームファッションの様式も変化してきており機能性（特に快適性）を追究した商品や気軽さを追究した商品が増え、消費者の選択肢が増えている。一方で、ホームファッションの「安全・安心」性を重視して購入しようとした場合、特にファブリック製品の防災性能に着目した場合、購入時の選択肢、ほとんど無いのが現状であり、普段の生活の中では、なかなか意識されていない。公共の建物や商業施設では「安全」に関する規制が義務づけられており、特に火災については「防災品」の使用が義務づけられている一方で、家庭においては、そのような規制は無く、個人の判断で購入している。ここで今一度、ホームファッションの「安全・安心」性について考えてみてはどうだろうか。現代生活において、「ヒヤッ、ハッ」とする場面は必ずある。「火/炎」や「熱さ」を感じる場面も含まれる。ヒヤリハットの場面は、1件の事故の裏には、29件の軽微な事故と300件のヒヤリハットが存在すると言われる（ハインリッヒの法則）。本ワークショップでは、300件のヒヤリハットを参加者の生活上の経験から共有し、「火」が関連する潜在化している事故に繋がる原因や防ぐ方法を参加者と共に考える。家庭の中で守らないといけない「大切なモノ」を防災することの大切さを考える。特に防災性能を有する防災品を使用することで、火災などの有事での避難時間を要する高齢者にとっては、そのための時間的余裕をつくることもできる。

本企画では、身を守る1つの機能としての「防災」について参加者と共に考える。

【キーワード】 防災、火災予防、自助共助

【開催日時】

日時：2019年12月7日（土）10時00分~12時00分

場所：信州大学 繊維学部 34番 講義室

【主催】上田市教育委員会、信州大学 繊維学部、地域防災減災センター、リビング・ラボ

【参加者数】 47名程度

【講師】

信州大学 繊維学部 准教授 若月 薫 氏

【実施内容】（ワークショップ進行：市田）

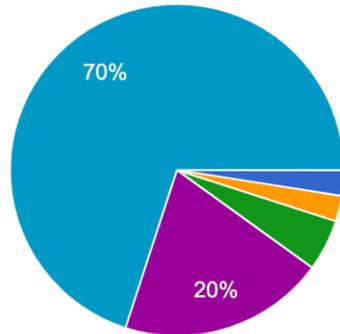
経過時間	実施内容
0min	Open イントロ： 15 min
15min	（アイスブレイク） ★WORK1：「火」にまつわる漢字抽出 10 min
25min	★WORK2：参加者からの「火/炎/熱」に関するヒアリハットの場面抽出 15 min
40min	（情報提供1）防災についての講演 火災の現状 15 min ・参加者からのヒアリハットの場面へのコメントをいれながら、火災の現状についての話を進める
55min	「ヒアリハットの場面」を防ぐにはどうすれば良い？ ★WORK3：参加者からの意見抽出 15 min
70min	（情報提供2）防災についての講演 「防災の現状と可能性」 20 min ・参加者からの意見にコメントをしながら、防災の話を進める
90min	ワークショップ「家庭の中の防災について」 ★WORK4：普段の何気ない行動の中に防災の意識を取り入れるためには。アクションプラン作成 20 min
110min	まとめ/講評 10 min
120min	Close

情報提供：若月先生

【アンケート】回収数：40件

2.年齢

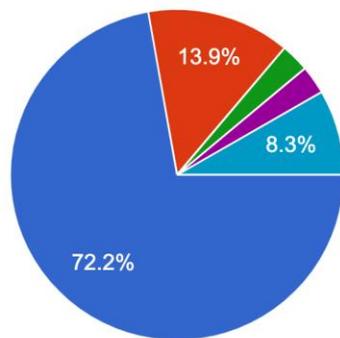
40 件の回答



- 10代
- 20代
- 30代
- 40代
- 50代
- 60歳以上

6.防災に対する印象をお答えください

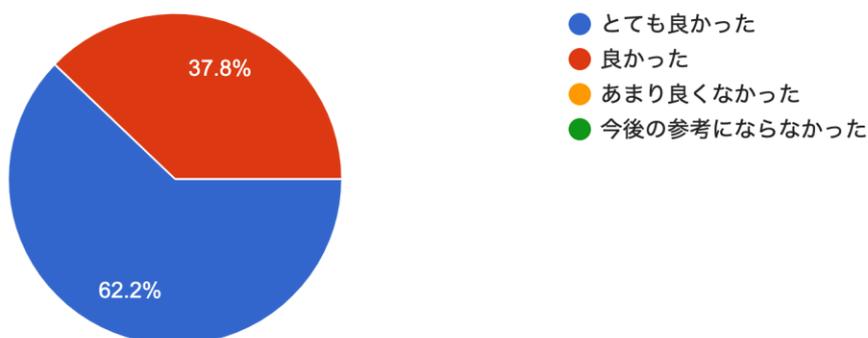
36 件の回答



- すぐに生活の中に取り入れてみようと思った
- もう少し関連する情報を集めてみる
- 防災に対する実感（必要性）がわからない
- たぶん生活の中に取り入れない
- すでに防災製品を使用している
- 防災製品の購入を検討している

7.本日の教室内容の満足度についてお答えください

37 件の回答



8.本日の感想/意見について

23 件の回答

- ・ 防災について詳しく教えていただき、生活に取り入れ安全に暮らすことが大事だとよく分かりました。
- ・ 火は、生活に欠かせないもので、人類と共に長年歩み続けてきたものですが、少し使い方を間違えると大変な事になることを実感し、安全に大切に使うことを心得ました。
- ・ グループワークが勉強になりました。
- ・ グループで話をするというワークショップは初めてで、楽しかった。
- ・ 映像でもみられて実感として受け止められました。
- ・ 防災等の繊維を研究しているか？教えて欲しい。
- ・ 防災について知識を広めることが出来たととても良い講義でした。火災については、充分に気を付けているつもりです。
- ・ 防災に対する熱心さを感じ取れました。
- ・ 防災について考える機会になりました
- ・ 一緒に取り組む参加メンバーの意見を聞かれ、会話も弾んで楽しく学べました。
- ・ 難燃という言葉をはじめて聞きました。大変勉強になりました。
- ・ 一方的な話ではなく、グループ活動もあり、工夫されていると思った。
- ・ 身近に起こりやすいことなどで大変勉強になりました。
- ・ ホームファッションという言葉をはじめて聞きました。防災についてももう少し真剣に考えてみようと思いました。
- ・ 「防災加工」について、処理方法、使用方法、注意括などが気になりました。
- ・ 火災事例等具体的で非常に良かったです。気づく、ことの大切さで1件でも火災が減ることを願います。
- ・ 出席して良かった。
- ・ 他県と比べて長野県の火災事情が異なっている原因が知りたくなった。
- ・ 意識が集中出来た
- ・ 火災の恐ろしさをビデオでよく分かった。隣の部屋で火災が起こっていても、まったく気づかない恐ろしさ、そして、突然、高い濃度の一酸化炭素が充満するそれを知って死に至る。

- 普段からアンテナを張っていないと反応できないと思いました。
- 非常に良かった。積極的に参加出来た。良く理解出来た。
- あきずに楽しかった。



京都大学 2019 年 4 月 11 日 (27 日) 京都大学 未来学
 『未来学』 未来学 未来学 (未来学)
身を守るホームアクション
 京都大学 未来学 未来学 未来学 (未来学)
 京都大学 未来学 未来学 未来学 (未来学)

7-71 『ある漢字』から『燃焼』される漢字を、グループでたくさん書き出してください。
 例)『炎』から燃焼される漢字として、『火、炎、焦』など。

火消し	消防署	ろくそく	火事
消火器	ライフライン	消防士	火災
火	スモーク	煙	ガス
火災	ストーブ	ヤケド	電気
火	豆炭	暖炉	赤い
熱い	山火事	火鉢	料理
			鍋

7-72 『火』や『炎』の燃焼する過程で、ご自身の経験の中で、『ヒヤッ』とした瞬間、『フツ』とした瞬間があると思います。その瞬間が『燃焼』している瞬間を思い出してください。

7-73 『燃焼』した瞬間を『ヒヤッ』とした瞬間を思い出してください。思い出した瞬間を『フツ』とした瞬間を思い出してください。思い出した瞬間を『燃焼』している瞬間を思い出してください。

7-74 『燃焼』した瞬間を思い出してください。思い出した瞬間を『ヒヤッ』とした瞬間を思い出してください。思い出した瞬間を『フツ』とした瞬間を思い出してください。思い出した瞬間を『燃焼』している瞬間を思い出してください。

防犯カメラを新調してカメラ購入は1万円
 火災の火災はここを各家庭を注意して多発する
 ハンドレール (手すり) 1.29.100
 煙探知器は設置して火災を知らせる
 防犯カメラは設置して火災を知らせる